

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-1 家庭教育推進事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	神山 賢治
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	乳幼児・児童の保護者を対象に家庭教育の学習機会を設け、家庭での子どもの教育を充実させます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<p>○乳幼児家庭教育学級の開催しました。 年に11回、0歳～3歳の子をもつ保護者を対象に、子育てについて自らテーマをもって学習する「たんぽぽ学級」の学習会を開催しました。 ○市内5小学校、2中学校、1園の家庭教育学級への支援を行いました。 各校・園に家庭教育学級の事業委託として、それぞれ3万円の補助金を交付しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	472,000	437,000	408,000	422,000
② 人件費	2,880,000	2,880,000	2,880,000	1,680,000
③ 合計コスト ①+②	3,352,000	3,317,000	3,288,000	2,102,000
前年度比 (%)		99.0%	99.1%	63.9%
財源内訳	国・県支出金			0
	市債			0
	その他特定財源			0
	一般財源	3,352,000	3,317,000	3,288,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	39,142.9	24,441.9
前年度比 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	62.4%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成26年度：業務量の見直しによる減			

(3) 活動指標	指標名	開催回数	単位:	回
	指標説明	家庭教育学級の開催回数		
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	実績値			84

(4) 成果指標	指標名	家庭教育学級の学級生参加率	単位:	%	評価:	+
	指標説明	家庭教育学級学習会参加者 / 学級生数				
	目標値の設定方針	各家庭教育学級生の6割以上の参加率を目指す。				
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
	目標値			60	60	
	実績値			53		
達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	88.3%			

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>毎年、各校・園の母親委員長やたんぽぽ学級の学級長を中心に趣向を凝らした学習会を開催しており、学級生にとって有意義な家庭教育学級が行われています。 しかし、中学校の家庭教育学級の参加率が比較的低く、いかに参加率を上げるかが課題となっています。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
<p>各校・園に他校・他市の家庭教育学級の情報を提供し、有意義で効果的な学習会の企画・実施を促し、学習会の参加率を向上させます。 また、家庭教育学級の説明会を実施し、学校ごとの認識の差を埋めるようはたらきかけます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村 道弘
<p>当事業は子育て世代からの評価も高く、今後も継続していく必要があります。 学習会の参加率を上げるために、積極的な情報収集を行い、各学級への情報提供を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-2 青少年健全育成事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類 2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	「大人が変われば、子どもが変わる」をスローガンにして、青少年の健全な育成を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<p>○わたしの主張美濃市大会を開催しました。 市内小中高の代表9名による「わたしの主張」の発表会の開催しました。 ○夏休みに向けての子ども育成指導講演会を開催しました。 7月の青少年非行・被害防止全国強調月間に合わせて開催しました。 ○青少年育成「市民のつどい」を開催しました。 市民を対象にした善行表彰、「夢」～描いた夢は努力でかなう～をテーマに、夢の実現に向けて努力することについて、基調講演、コマ回しの実演を実施しました。 ○少年補導センターによる街頭補導、非行防止活動、子ども会育成協議会、JLC活動の支援を実施しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	1,170,860	1,217,400	1,217,400	1,218,000
② 人件費	7,920,000	6,800,000	7,280,000	5,680,000
③ 合計コスト ①+②	9,090,860	8,017,400	8,497,400	6,898,000
財源内訳	前年度比 (%)		88.2%	106.0%
	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	9,090,860	8,017,400	8,497,400
④ 活動一単位当たりコスト	909,086.0	728,854.5	772,490.9	627,090.9
前年度比 (%)		80.2%	106.0%	81.2%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成26年度：業務量の見直しによる減			

(3) 活動指標	指標名	青少年育成推進委員会の開催回数				単位:	回数
	指標説明	青少年育成事業を進める上で核となる組織の活動状況					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	10	11	11	11		

(4) 成果指標	指標名	子ども育成講演会及び市民のつどい出席者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	青少年育成事業のなかで中心的な行事の出席者の状況							
	目標値の設定方針	子ども育成講演会60人以上、市民のつどい300人以上の参加を目指します。							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	500	500	500	500				
	実績値	510	512	355					
達成度 (%)	102.0%	102.4%	71.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>青少年健全育成事業は、「夏休みに向けての子ども育成指導講演会」及び青少年育成「市民のつどい」を事業の二本の柱として、それを補完する形で少年補導センターや子ども会などの活動を行ってきました。特に、市民のつどいは、市民団体や青少年の参加による市民協働型で実施されているが、事業の定着化に反して参加者が横ばいの状況です。事業の見直し、内容の充実や広報活動に力を入れる必要があります。また、活動の母体である市青少年育成市民会議の組織が、設立当初のまま整理されず弱体化してきているため、強化を図る必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<p>活動の母体である市青少年育成市民会議の組織を見直し、市民団体や青少年育成団体を中心とした組織として活動できる組織へと変革を図り、青少年を健全に育成する仕組みづくりを行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>二つの事業は、内容を充実させ、市民総参加型の行事として、発展させていきます。市青少年育成市民会議の組織については、加入団体の見直しを行い、新たな意識づけなどを行うことにより、内容を充実させていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-3 勤労青少年ホーム施設管理経費	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類 2児童・青少年
	総合計画上の施策名	8 家庭・地域における青少年教育の充実・支援	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	勤労青少年ホームを運営管理することにより勤労青少年の健全な育成と福祉増進を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	定期使用団体によるダンス、ヨガ、アマチュアバンド、太鼓練習などの利用がありました。また定期使用団体以外で各団体の練習会場や会議室等としての使用がありました。 (開館日数 296日)

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	2,396,246	3,035,800	2,672,223	2,139,000	
② 人件費	1,280,000	1,280,000	1,280,000	2,880,000	
③ 合計コスト ①+②	3,676,246	4,315,800	3,952,223	5,019,000	
前年度比 (%)		117.4%	91.6%	127.0%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	583,370	596,630	678,630	550,000
	一般財源	3,092,876	3,719,170	3,273,593	4,469,000
④ 活動一単位当たりコスト	5,327.9	5,816.4	4,440.7	6,692.0	
前年度比 (%)		109.2%	76.3%	150.7%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	業務量の見直しにより、増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	施設利用回数				単位:	回
	指標説明	各室の延べ利用回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	690	742	890	750		

(4) 成果指標	指標名	利用延べ人員				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	9,836	9,820	9,843	9,843				
	実績値	9,352	9,374	11,446					
達成度 (%)	95.1%	95.5%	116.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
定期利用団体等が継続的に利用し、活発な活動が行なわれています。 施設が老朽化しています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年12月
老朽化が顕著であるため、応急的な処置と改修設計を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
市内の勤労青少年を含め、幅広い年齢層から、多くの利用があり、音楽やダンス等様々な練習の場になっています。他の施設とも連携し、美濃市音楽フェスティバル等を発表の場として、相互交流を図るよう展開していきます。 施設の決め細やかな改修を計画的に行っていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-4 人権教育・啓発推進事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	49 人権同和教育の推進	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	「美濃市人権教育・啓発の指針」に基づき、市民一人ひとりが人権に関するさまざまな課題について認識を深めるために、学校・地域・家庭・職場その他あらゆる場を通じて教育を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○人権問題市民啓発講演会の開催しました。 ○地区公民館において、人権学習会を開催しました。 ○人権週間の活動を実施しました。 ○人権啓発講演会と「わたしのメッセージ展」を開催しました。 ○人権問題交流会の開催を開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	579,973	611,497	570,225	594,000
② 人件費	1,280,000	1,280,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	1,859,973	1,891,497	1,450,225	1,474,000
財源内訳	前年度比 (%)		101.7%	76.7%
	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,859,973	1,891,497	1,450,225
④ 活動一単位当たりコスト	464,993.3	378,299.4	290,045.0	294,800.0
前年度比 (%)		81.4%	76.7%	101.6%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度：業務量の見直しによる減			

(3) 活動指標	指標名	人権同和に関する市民啓発講演会の開催回数				単位:	回数
	指標説明	市民に広く人権同和教育を推進するために行う市民啓発講演会の開催状況					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	4	5	5	5		

(4) 成果指標	指標名	人権同和问题市民啓発講演会参加人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	人権同和教育・啓発事業のなかで中心的な行事の出席者数の状況							
	目標値の設定方針	240人以上の参加を目指します							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	240	240	240	240				
	実績値	200	230	339					
達成度 (%)	83.3%	95.8%	141.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>学校教育の現場や市民啓発講演会などの実施により、市民に対し広く人権同和教育を実施し、確実に成果を上げてきました。しかしながら、インターネットを介した誹謗中傷や個人情報の流出など新しい形の人権侵害が起こっています。これを他人事とせず、市民一人ひとりの人権への正しい理解と人権意識の高揚を図る必要があります。また、市民啓発講演会の参加者が固定化してきているため、新規参加者の開拓と拡大を図る必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成27年3月
<p>人権への正しい理解と人権意識の高揚を高めるために、市民啓発講演会の内容を充実させ、広報等により参加者の拡大を図ります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>人権への正しい理解と人権意識の高揚は、人権同和教育の推進する上で、重要な課題となります。さらに、啓発・推進していくために、人権週間に行うメッセージ展の充実など各種行事の充実を図ります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-5 梅山大学活動事業	担当課	人づくり文化課 中央公民館
		作成者	額額修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	高齢者が、生涯学習を通じてその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	入学式・開講式および卒業式・閉講式の挙行。 中央研修として、1泊研修、日帰り研修、文化祭、講演会などを実施。 クラブ活動ごと、あるいは地区ごとに独自の活動を実施。 執行部会、運営委員会を開催して、自主的な運営を行った。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	370,820	471,900	468,000	588,000
② 人件費	240,000	240,000	240,000	240,000
③ 合計コスト ①+②	610,820	711,900	708,000	828,000
前年度比 (%)		116.5%	99.5%	116.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	610,820	711,900	708,000
④ 活動一単位当たりコスト	20,360.7	23,730.0	23,600.0	27,600.0
前年度比 (%)		116.5%	99.5%	116.9%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	中央研修会等の活動回数				単位:	回
	指標説明	中央研修会等の活動回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	30	30	30	30		

(4) 成果指標	指標名	学生数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	入学式時点での学生数							
	目標値の設定方針	前年度実績の100%							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	574	468	442	397				
	実績値	468	442	397					
達成度 (%)	81.5%	94.4%	89.8%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
大学生、大学院生、助手で構成されているが、全体的に高齢化が進んでいる。高齢者のうちでも若い世代の人々は、こうした集まりに参加することをためらう人が多く、新入生が得られないため、全体として学生数が減少傾向にある。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
60歳代の方々を中心に、梅山大学への入学をさらに働きかけていく。また、大学院生や助手と新入生がともに活動できるプログラムの充実を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
高齢化時代を迎え、今後ますます元気な高齢者が増加する。社会参加および人との交流を保つことで高齢化社会の安泰、医療費の低減などメリットのある部分は多数あると思われる。今後も続けていくべきである。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-6 生涯学習推進事務事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	50 生涯学習振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	「1市民・1芸・1スポーツ・1ボランティア」の実践に向け、市民のライフスタイルに合わせた、多様な生涯学習の提供と学習環境の充実を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<p>○子ども創造館事業：岐阜大学と森林文化アカデミーと連携して、子どもを対照にしたワークショップを11回実施しました。</p> <p>○いきいき保険：安心して生涯学習が行えるよう全市民を対象に市民活動災害補償保険に加入しました。</p> <p>○生涯学習センターなど生涯学習施設の適正な維持管理に努めました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	9,815,349	12,908,116	9,347,739	10,796,000
② 人件費	4,720,000	4,720,000	3,840,000	1,120,000
③ 合計コスト ①+②	14,535,349	17,628,116	13,187,739	11,916,000
前年度比 (%)		121.3%	74.8%	90.4%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	14,535,349	17,628,116	13,187,739
④ 活動一単位当たりコスト	2,422,558.2	1,958,679.6	1,198,885.4	1,083,272.7
前年度比 (%)		80.9%	61.2%	90.4%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	H24年は生涯学習マスタープランの策定を行ったため業務量が多かった。H25年は人件費、業務量を見直したためコスト減となっている。			

(3) 活動指標	指標名	子ども創造館ワークショップ開催回数				単位:	回
	指標説明	子ども創造館ワークショップ開催回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	6	9	11	11		

(4) 成果指標	指標名	子ども創造館ワークショップ参加数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	子ども創造館ワークショップ参加数							
	目標値の設定方針	1ワークショップ当り20名の出席							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	120	180	220	220				
	実績値	82	119	172					
達成度 (%)	68.3%	66.1%	78.2%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>定期的にワークショップを開催し、子どもたちの興味や資質を見出すことができました。森林文化アカデミーとの連携によるワークショップ「みの木育寺子屋」は、木と親しみ、道具の使い方を学ぶものとして、本格的に実施することができました。岐大との連携によるワークショップは、参加者が少なく、内容の形骸化などの課題があり、充実を図る必要があります。</p> <p>生涯学習施設は、適正な維持管理を行うことができました。今後は予防的な維持管理行えるよう予算計上する必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年12月
岐阜大学との連携によるワークショップ内容の充実、対象者のニーズの把握や広報・宣伝などのPR活動を検討します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>参加者が減少しているということは、対象者のニーズの減少と思われます。少子化の影響もあるが、対象者が週休2日制になれ、土日の過ごし方について、それぞれが見つけた結果によるものと思われます。今後は、より専門的な見地に立ち、興味のある子どもを対象にした講座とすることで、参加者の増加を図ります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-7 図書館運営事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	52 図書館事業の充実	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	図書資料・情報の収集、施設の充実により「知の拠点」として、市民の学習機会の場に供します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<p>専門化、細分化した図書や最新の情報に沿った図書を購入しました。はじめまして絵本、読み聞かせ会講習会等で幼児期の読み聞かせの大切さやその方法を保護者に指導し、子どもの読書活動を推進しました。移動図書館や古本市などを実施し、図書サービスの多様化を図りました。耐震診断を行い現状を把握するとともに改修計画を作成しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	11,157,951	11,709,191	11,139,835	11,547,000
② 人件費	2,960,000	2,960,000	2,960,000	3,760,000
③ 合計コスト ①+②	14,117,951	14,669,191	14,099,835	15,307,000
前年度比 (%)		103.9%	96.1%	108.6%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	14,117,951	14,669,191	14,099,835
④ 活動一単位当たりコスト	49,363.5	50,934.7	48,957.8	53,149.3
前年度比 (%)		103.2%	96.1%	108.6%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
	実績値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
		286	288	288	288		

(4) 成果指標	指標名	貸出冊数				単位:	冊	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	86,910	85,327	82,324	81,216				
	実績値	81,264	78,404	77,349					
達成度 (%)	93.5%	91.9%	94.0%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>築47年経過し、老朽化していること及び耐震診断の結果を踏まえて、現在の建物を改修するか、又は新築するなどの対応を早急に結論を出す必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年12月
<p>耐震補強工事、及び雨漏りなどに対応した改修工事を実施します。又は新たに新築します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>来館者や貸出冊数などがやや減少が見られます。蔵書の更新や関係機関との連携に努めるなど図書館機能を向上させます。又、恵まれた周辺環境を活かした特色ある図書館作りを行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-8	成人式開催事業	担当課	人づくり文化課 中央公民館
			作成者	太田光治
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53	公民館事業の充実	
	施策名(評価単位)	(33)	生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	成人式を開催することにより、社会生活での自立と自覚を促します。
------------	---------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	成人式は美濃市文化会館で開催しました。 各地区から実行委員を選出し、実行委員の企画立案により運営を行いました。 平成25年度は、2回実行委員会を開催しました。 成人式対象者253名 成人式出席者223名

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	480,284	474,857	446,675	569,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,680,000	1,680,000
③ 合計コスト ①+②	2,160,284	2,154,857	2,126,675	2,249,000
前年度比 (%)		99.7%	98.7%	105.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,160,284	2,154,857	2,126,675
④ 活動一単位当たりコスト	45,963.5	42,252.1	78,765.7	66,147.1
前年度比 (%)		91.9%	186.4%	84.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	成人式打合せ会に出席した実行委員延べ数				単位:	人
	指標説明	成人式打合せ会に出席した実行委員延べ数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	47	51	27	34		

(4) 成果指標	指標名	成人式出席者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	成人式に出席した新成人の数							
	目標値の設定方針	新成人の100%出席							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	260	260	253	215				
	実績値	214	219	223					
達成度 (%)	82.3%	84.2%	88.1%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
人生の節目に相応しい事業となるよう、今後も内容の改善について具体的に検討していかねばなりません。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
各地区から選ばれた実行委員を中心に自分たちで企画運営する手作りの成人式を開催します。 実行委員の選出について、地区公民館(公民館主事)と連絡調整を図り、成人式の企画運営に相応しい実行委員の選出を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
成人式は人生の節目の行事としてなく中止することはできません。毎年、新成人が成人式を企画運営する実行委員会を組織して、式典を演出しており、これを今後も進めていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-9 中央公民館運営補助事業	担当課	人づくり文化課 中央公民館
		作成者	瀬藤修司
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実	
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進	

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために中央公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	美濃市中央公民館の職員は現在3名ですが、うち1名は梅山大学および美濃公民館の事務を主にしているため、中央公民館の事務については2名で行っています。中央公民館の主催する生涯学習講座は25講座を計画し21講座を実施、延べ2,418人回の出席があり、この講座の成果を生涯学習フェスティバルで発表しました。定期的に使用している団体は78団体があり、そのうち27団体が生涯学習団体作品展において活動の成果を発表しました。その他の貸し館が1,473件ありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	9,947,541	10,933,312	13,334,942	12,558,000
② 人件費	4,880,000	4,880,000	5,680,000	5,680,000
③ 合計コスト ①+②	14,827,541	15,813,312	19,014,942	18,238,000
前年度比 (%)		106.6%	120.2%	95.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	14,827,541	15,813,312	19,014,942
④ 活動一単位当たりコスト	617,814.2	658,888.0	905,473.4	792,956.5
前年度比 (%)		106.6%	137.4%	87.6%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度に施設修繕工事を3,685,500円実施したため増			

(3) 活動指標	指標名	生涯学習講座開催講座数				単位:	講座
	指標説明	生涯学習講座開催講座数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	24	24	21	23		

(4) 成果指標	指標名	生涯学習講座参加延べ人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	生涯学習講座参加延べ人数							
	目標値の設定方針	生涯学習講座当初募集定員延べ人数							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	3,770	4,045	4,975	4,615				
	実績値	2,917	2,977	2,418					
達成度 (%)	77.4%	73.6%	48.6%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
募集講座の数や開催した講座の数は、近年ほとんど変わっていませんが、その内容は変化しており、講座内容によって募集定員や実施回数の変化が見られます。今後も市民が本当に望んでいる講座の発掘など、講座内容をよく吟味することが必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
講座受講生、公民館利用者、講師依頼予定者、新講座の講師希望者など、各方面からの要望を反映させた講座を計画していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
初心者を対象としているにもかかわらず、くりかえし受講を希望する受講生が多くあることから、市民に定着している事業となっています。自主的な生涯学習活動への入口として、さらに市民の要望に沿ったメニューを取り入れていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-10 市美術展事業		担当課	人づくり文化課 中央公民館
			作成者	太田光治
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	美術展の開催により、水準の高い文化を創造します。
------------	--------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	6部門(洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画)144点の出品がありました。その中から市展賞、市長賞、教育委員長賞、優秀賞、奨励賞、入選を選考し、美術展最終日に表彰を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	290,726	257,984	271,457	300,000
② 人件費	1,680,000	1,680,000	1,680,000	1,680,000
③ 合計コスト ①+②	1,970,726	1,937,984	1,951,457	1,980,000
前年度比 (%)		98.3%	100.7%	101.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,970,726	1,937,984	1,951,457
④ 活動一単位当たりコスト	492,681.5	484,496.0	487,864.3	495,000.0
前年度比 (%)		98.3%	100.7%	101.5%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	美術展代表者(審査員)打合せ会開催回数			単位:	回
	指標説明	美術展代表者(審査員)打合せ会開催回数				
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
	実績値	4	4	4	4	

(4) 成果指標	指標名	出展数		単位:	点	評価:	+
	指標説明	出展数					
	目標値の設定方針	前年度以上					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	目標値	160	160	160	160		
	実績値	140	156	144			
達成度 (%)	87.5%	97.5%	90.0%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市内のみならず、他市町や他県からの応募もありますが、出展数が減少気味となっています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
ホームページや広報等で広く一般に公募案内をすると共に、昨年の出品者にも出展依頼を行います。出品作品の申し込み方法の便宜を図るため、FAXによる申し込みを可能とします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
美濃市からの出展者より他市町からの出展者が増える傾向にあり、全体としての出展者数も減少気味となっています。美術展としての展示会でなく、部門ごとの展示会等の方法も検討する必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-11 地区公民館施設管理事業	担当課	人づくり文化課 中央公民館	
		作成者	瀬瀬修司	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	53 公民館事業の充実		
	施策名(評価単位)	(33) 生涯学習・青少年健全育成・人権教育の推進		

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために地区公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	洲原、上牧、大矢田、藍見、中有知の5公民館の管理運用がスムーズに行われるよう、需用費、役務費、管理人委託料などを負担し、これらが適正に使用されるよう指導します。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	5,745,422	6,993,918	5,811,971	6,718,000
② 人件費	1,520,000	1,520,000	1,520,000	1,520,000
③ 合計コスト ①+②	7,265,422	8,513,918	7,331,971	8,238,000
前年度比 (%)		117.2%	86.1%	112.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,265,422	8,513,918	7,331,971
④ 活動一単位当たりコスト	1,453,084.4	1,702,783.6	1,466,394.2	1,647,600.0
前年度比 (%)		117.2%	86.1%	112.4%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	管轄している公民館数				単位:	館
	指標説明	管轄している公民館数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	5	5	5	5		

(4) 成果指標	指標名	管轄している公民館の自主事業数				単位:	事業	評価:	+
	指標説明	管轄している公民館の自主事業数							
	目標値の設定方針	前年度以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	104	120	120	120				
	実績値	171	123	125					
達成度 (%)	164.4%	102.5%	104.2%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
現在、美濃市には地区公民館7館と中央公民館があり、それぞれ活動を行っています。地区公民館は地域ふれあいセンターと併設されており、地域コミュニティの場として地域づくり活動、生涯学習活動、各種団体活動など、地域活動の拠点となる機能の充実が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
自治会活動、各種団体活動、生涯学習活動などに積極的に取り組み、地域の身近な活動拠点となるよう機能の充実と利用促進を図っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
地区公民館は地域ふれあいセンターとしての機能も有しており、地域活動の拠点として適正な管理運営を継続します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-12 市体育館施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館の3施設の管理 ・体育施設管理業務委託 ・清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・浄化槽保守点検業務委託 ・光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	3,449,164	13,207,515	5,183,523	8,395,000
② 人件費	320,000	320,000	880,000	88,000
③ 合計コスト ①+②	3,769,164	13,527,515	6,063,523	8,483,000
前年度比 (%)		358.9%	44.8%	139.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,769,164	13,527,515	6,063,523
④ 活動一単位当たりコスト	12,197.9	43,920.5	19,686.8	27,364.5
前年度比 (%)		360.1%	44.8%	139.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度：市体育館屋根窓改修工事（10,182千円）完了に伴う減 平成26年度：体育館耐震診断・補強計画書策定（5,500千円）実施に伴う増			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位：	日
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	309	308	308	310		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	25,230	31,000	29,000	30,000				
	実績値	30,686	28,094	30,784					
達成度 (%)	121.6%	90.6%	106.2%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
・施設が老朽化し危険です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
美濃市体育館を安心安全に使用できるよう、耐震診断と補強計画の作成を実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
・利用しやすい施設にするとともに老朽化した施設を順次修繕する必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-13 各地区グラウンド施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、地区グラウンドを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・下牧・御手洗・大矢田・藍見・中有知の5箇所のグラウンドの管理業務委託 ・光熱水費など ・グラウンドの土の補給

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	3,057,523	627,373	8,065,517	1,252,000
② 人件費	320,000	320,000	720,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	3,377,523	947,373	8,785,517	2,132,000
前年度比 (%)		28.0%	927.4%	24.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,377,523	947,373	8,785,517
④ 活動一単位当たりコスト	9,382.0	2,638.9	24,404.2	5,922.2
前年度比 (%)		28.1%	924.8%	24.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度は、藍見グラウンド防球ネット新設工事4,830千円、藍見グラウンドトイレ設置工事2,499千円の減額。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
	実績値	360	359	360	360	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	御手洗グラウンドの利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込			
	目標値	7,900	6,500	8,000	9,000			
	実績値	6,470	7,990	10,162				
達成度 (%)	81.9%	122.9%	127.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね各地区でグラウンドの管理ができました。 ・大雨が降るとグラウンドの土が流れてしまいます。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1地区のみ土を補充しているが、他の地区にも順次補充できるよう次年度予算要求します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドの除草作業など施設管理が大変であるが、引き続き管理を委託し市民が利用しやすいようにします。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-14 和紙の里スポーツ広場施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、和紙の里スポーツ広場を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・委託管理業務委託 ・電気設備保守点検業務委託 ・浄化槽清掃点検業務委託 ・光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	4,941,341	5,224,427	5,380,070	5,734,000
② 人件費	320,000	320,000	640,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	5,261,341	5,544,427	6,020,070	6,614,000
前年度比 (%)		105.4%	108.6%	109.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	5,261,341	5,544,427	6,020,070
④ 活動一単位当たりコスト	17,027.0	18,001.4	19,545.7	21,335.5
前年度比 (%)		105.7%	108.6%	109.2%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
	実績値	309	308	308	310	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込			
	目標値	10,200	11,500	11,100	12,000			
	実績値	11,480	11,033	11,806				
達成度 (%)	112.5%	95.9%	106.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	<p>・老朽化した施設の修繕を行い、施設の維持管理ができました。</p>
----------	--------------------------------------

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<p>・計画的な修繕の検討が必要です。 ベンチ屋根・門扉などの塗装 ブラインドの交換</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>・利用しやすい施設にするとともに老朽化した施設を順次修繕していかなければなりません。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-15 運動公園施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、運動公園を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園管理業務委託 ・テクノパーク・テニスコート管理業務委託 ・浄化槽維持管理業務委託 ・電気設備保安管理業務委託 ・貯水槽点検清掃・水質検査業務委託 ・光熱水費など
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	7,373,009	7,309,438	10,340,465	11,976,000
② 人件費	320,000	320,000	640,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	7,693,009	7,629,438	10,980,465	12,856,000
前年度比 (%)		99.2%	143.9%	117.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,693,009	7,629,438	10,980,465
④ 活動一単位当たりコスト	24,896.5	24,770.9	35,650.9	41,471.0
前年度比 (%)		99.5%	143.9%	116.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度から体育施設等清掃業務委託経費3,720千円を事業費に計上したことによる増			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
	実績値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
		309	308	308	310		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	30,200	29,200	27,600	28,000				
	実績値	29,118	27,585	26,930					
達成度 (%)	96.4%	94.5%	97.6%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の修繕を行い、施設の維持管理ができました。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕の検討が必要です。 夜間照明の修繕 夜間照明の大規模改修工事のスポーツ振興くじ申請検討中 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が減少傾向にあります。 ・利用しやすい施設にするとともに老朽化した施設を順次修繕していかねばなりません。 		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-16 台山ヒロック施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、台山ヒロックを適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	・除草剤の購入、台山ヒロックのポンプ・トイレの電気料金、トイレの上下水道料

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	983,005	883,515	652,558	746,000
② 人件費	320,000	320,000	640,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	1,303,005	1,203,515	1,292,558	1,626,000
前年度比 (%)		92.4%	107.4%	125.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,303,005	1,203,515	1,292,558
④ 活動一単位当たりコスト	4,216.8	3,907.5	4,196.6	5,245.2
前年度比 (%)		92.7%	107.4%	125.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	業務量の見直しによる人件費の増加。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	309	308	308	310		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	16,100	13,900	16,100	16,100				
	実績値	13,852	16,020	16,037					
達成度 (%)	86.0%	115.3%	99.6%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・主としてサッカー少年団が利用しているが、他種目の利用を促し施設の利用率を高めます。 ・水道管の破裂を防ぐため、冬場には凍結防止のバルブを開きます。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> ・放送設備を設置します。 ・冬場以外は、水道料金を抑えるため必ずバルブを閉じます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい施設にするとともに老朽化した施設を順次修繕していかなければなりません。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-17 市民プール施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市民プールを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民プール監視等管理業務委託 ろ過装置点検整備業務委託 ウオータースライドの保守点検 ろ過装置の修繕 光熱水費の支払いや消毒液の購入

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	10,248,172	10,509,774	19,672,573	16,259,000
② 人件費	640,000	640,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	10,888,172	11,149,774	20,552,573	17,139,000
前年度比 (%)		102.4%	184.3%	83.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	10,888,172	11,149,774	20,552,573
④ 活動一単位当たりコスト	231,663.2	227,546.4	411,051.5	389,522.7
前年度比 (%)		98.2%	180.6%	94.8%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度改修工事費8,172千円が増額。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	47	49	50	44		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	9,400	8,000	9,300	9,500				
	実績値	7,905	9,249	9,813					
達成度 (%)	84.1%	115.6%	105.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>・最低限の費用で維持管理を行ってきたが、施設の老朽化によりリニューアルが必要となっています。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<p>・25mプールのある下段の改修工事を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>・市民の憩いの場として利用者も多いが、施設の老朽化により今の状態ではけが人が出る可能性があるため、プールサイドの全面改修と50mプールの塗装を早急に行う必要があります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-18 夜間学校開放施設管理事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、各小中学校体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	・学校開放体育館6カ所の鍵の貸出業務を委託

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	359,749	300,000	300,000	300,000
② 人件費	880,000	880,000	1,760,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	1,239,749	1,180,000	2,060,000	1,180,000
前年度比 (%)		95.2%	174.6%	57.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,239,749	1,180,000	2,060,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,443.7	3,286.9	5,722.2	3,277.8
前年度比 (%)		95.4%	174.1%	57.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	両年度とも業務量の見直しによる人件費の増減。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	360	359	360	360		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	53,000	50,000	51,000	51,000				
	実績値	49,687	50,726	48,127					
達成度 (%)	93.7%	101.5%	94.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
・ジュニアクラブの利用が増え、一般社会教育団体が利用しにくくなってきました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
・体育館利用団体が他の団体と合同で使用するよう勧めます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
・利用団体が増加傾向のため、利用日時の調整や合同利用等の対策を進めスポーツの振興を促します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-19 体育施設改修等事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	老朽化及び損傷した体育施設を修繕し、利用者の安全確保とスポーツ振興及び市民の健康づくりを促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館 ・曾代テニスコート・和紙の里テニスコート・テクノパークテニスコート ・曾代グラウンド・和紙の里スポーツ広場グラウンド・各地区グラウンド ・市民球場・市民プール ・生涯学習施設体育館・各学校体育館 以上施設修繕を行う。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	949,130	1,942,804	1,452,268	1,000,000
② 人件費	640,000	640,000	640,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	1,589,130	2,582,804	2,092,268	1,880,000
前年度比 (%)		162.5%	81.0%	89.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,589,130	2,582,804	2,092,268
④ 活動一単位当たりコスト	5,142.8	8,385.7	6,793.1	6,064.5
前年度比 (%)		163.1%	81.0%	89.3%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成24年度には、陸上競技場及び市民球場の照明等1,039千円の修繕を行ったためコスト増			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位:	日
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	309	308	308	310		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	95,000	100,000	100,000	100,000				
	実績値	99,566	99,971	105,532					
達成度 (%)	104.8%	100.0%	105.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
・老朽化が目立つ施設が多いが、適切な修繕を行うことができました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
・運動公園夜間照明の改修を計画的に進めます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
・老朽化により使用に支障をきたしている施設が見受けられます。そこで、改修計画を策定し、計画的な修繕を実施していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-21	スポーツ推進委員活動事業	担当課 人づくり文化課
			作成者 後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興のため、スポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導助言を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室の開催（親子水泳教室外3教室・参加者89名） 地区、県、東海、全国研究大会参加 各種スポーツ大会の協力及び講習会の開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	1,429,820	1,655,224	1,409,832	1,681,000
② 人件費	960,000	960,000	1,440,000	1,680,000
③ 合計コスト ①+②	2,389,820	2,615,224	2,849,832	3,361,000
前年度比 (%)		109.4%	109.0%	117.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,389,820	2,615,224	2,849,832
④ 活動一単位当たりコスト	477,964.0	523,044.8	569,966.4	480,142.9
前年度比 (%)		109.4%	109.0%	84.2%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	研修会回数				単位:	回
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	5	5	5	7		

(4) 成果指標	指標名	研修会参加人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	73	70	70	70				
	実績値	64	59	63					
達成度 (%)	87.7%	84.3%	90.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 研修会の参加率がおおむね80%となり良好であるが、90%以上を目指します。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> 委員会で開催案内を電話、メール等で連絡を取り出席を促します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> 地区体育推進委員会に参画し地区における生涯スポーツ振興のため、地区スポーツ推進委員と推進員の連携を密にする必要があります。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-22 各種体育大会開催事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	54 生涯スポーツの振興と環境整備	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	「1市民1スポーツ」の実現を目指して各種体育市民大会を開催します。
------------	-----------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	親子水泳教室ほか3教室の開催及び8種目のスポーツ大会開催によりスポーツとの出会いの場の提供と市民の健康増進に努めました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	469,400	316,840	321,000	203,000
② 人件費	640,000	640,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	1,109,400	956,840	1,201,000	1,083,000
前年度比 (%)		86.2%	125.5%	90.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,109,400	956,840	1,201,000
④ 活動一単位当たりコスト	138,675.0	106,315.6	133,444.4	120,333.3
前年度比 (%)		76.7%	125.5%	90.2%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度：業務量の見直しによる増			

(3) 活動指標	指標名	補助大会数				単位:	回
	指標説明	団体の自主運営、自主活動を推進する					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	8	9	9	9		

(4) 成果指標	指標名	参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	1,400	1,500	1,600	1,600				
	実績値	1,478	1,591	1,434					
達成度 (%)	105.6%	106.1%	89.6%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
・参加者数が望める新規スポーツ大会を計画する必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
・市民大会補助金を、体育協会事務局に移管したことにより事務量が軽減しました。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> ・4教室、8スポーツ大会が開催できました。 ・大会に対して補助金を支給することは必要であるが、事業の内容等を精査して、補助金額の見直しを検討します。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-23 体育協会補助事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	55	スポーツ団体と指導者の育成
	施策名(評価単位)	(34)	生涯スポーツの推進

2. 事務事業の目的	スポーツの普及と競技スポーツの振興、市民の健康づくりに寄与することを旨とする体育協会を支援してスポーツ活動の正しい普及発展を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民大会の開催 競技種目団体への育成費・強化費の助成 機関紙の発行 優秀指導者、優秀選手の表彰 ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催 スポーツ少年団への助成金交付 特別強化事業の開催 全国大会出場者激励会の開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	1,363,000	908,000	2,499,000	1,411,000
② 人件費	1,840,000	1,840,000	640,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	3,203,000	2,748,000	3,139,000	2,291,000
前年度比 (%)		85.8%	114.2%	73.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,203,000	2,748,000	3,139,000
④ 活動一単位当たりコスト	228,785.7	183,200.0	209,266.7	152,733.3
前年度比 (%)		80.1%	114.2%	73.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	体育協会事務事業の人件費1,300万円をスポーツ振興事業へ移管したため減額			

(3) 活動指標	指標名	市民大会開催数				単位:	回
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	14	15	15	15		

(4) 成果指標	指標名	県民スポーツ大会参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	135	135	135	135				
	実績値	133	131	117					
達成度 (%)	98.5%	97.0%	86.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 県民スポーツ大会への出場選手が減少しています。 市民大会の参加チーム数が減少傾向です。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
協会所属の競技団体へ育成を中心とした強化及び底辺の拡大を促します。 <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団またはジュニアクラブの設立 初心者教室また体験教室の開催 有名選手また指導者による教室の開催 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> 協会所属の競技団体の中には、世代交代または後進選手・指導者の育成ができていない団体もあり、小学生、中学生時からの指導育成がなされ、高校または大学卒業後に競技団体において中心選手として、晩年は指導者として活躍できるような形態となる環境を整備していきます。 各競技団体にて底辺の拡大が、市民スポーツの向上、競技力向上、健康増進につながるようにします。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-24	スポーツ少年団活動補助事業	担当課 人づくり文化課
			作成者 後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 2社会教育
	総合計画上の施策名	55 スポーツ団体と指導者の育成	
	施策名(評価単位)	(34) 生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し青少年の心身の健全な育成を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流大会（5年生団員による宿泊研修） ・母集団研修会 ・一日体験入団 ・指導者・育成者」表彰式及び「優秀団・優秀団員」表彰式

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	408,000	408,000	363,000	363,000
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,080,000	2,080,000
③ 合計コスト ①+②	4,408,000	4,408,000	4,443,000	2,443,000
前年度比 (%)		100.0%	100.8%	55.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,408,000	4,408,000	4,443,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,469,333.3	1,469,333.3	1,481,000.0	814,333.3
前年度比 (%)		100.0%	100.8%	55.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成26年度：業務量の見直しによる減			

(3) 活動指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業				単位:	回
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	3	3	3	3		

(4) 成果指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業参加者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	各事業での割当て人数							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	211	210	160	160				
	実績値	209	148	141					
達成度 (%)	99.1%	70.5%	88.1%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市スポーツ少年団本部事業への参加者が、子どもは伸びたが指導者及び育成者の参加が伸びません。 ・スポーツ少年団の加入者数については、少子化に伴い減少傾向にあります。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> ・指導者・育成者に研修会への参加を呼びかけるとともに、日時設定についても平日の夜間は避け、土日で行います。 ・スポーツ少年団の加入率についてはさほど落ちていないが、加入者数の減少は明らかで各小中学校への呼びかけや、ホームページにスポーツ少年団の情報を盛り込む事で加入者数の増加を図ります。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> ・団員が本部事業に参加する意識が強くなっていることから、参加者数が増えつつあります。 ・研修会においては、毎年内容を変えて行っているが、参加者数に増減があまり見られないため、日時や研修内容等の見直しをする事でもっと参加しやすい環境を検討します。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-25	スポーツ振興事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	55	スポーツ団体と指導者の育成	
	施策名(評価単位)	(34)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ教室の企画・運営、各種スポーツ大会のマネジメントを実施してスポーツ振興を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会のマネージメント 各種スポーツ教室の開催 体育施設の貸出、料金徴収 NPO法人うだつアップクラブへの業務委託

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	2,880,000	2,439,000	2,214,798	4,970,000
② 人件費	880,000	880,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	3,760,000	3,319,000	3,094,798	5,850,000
前年度比 (%)		88.3%	93.2%	189.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,760,000	3,319,000	3,094,798
④ 活動一単位当たりコスト	1,253,333.3	1,106,333.3	1,031,599.3	#DIV/0!
前年度比 (%)		88.3%	93.2%	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成26年度から体育協会事務事業の人件費1,300万円をスポーツ振興事業へ移管したため増額			

(3) 活動指標	指標名	スポーツ大会数				単位:	回
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	3	3	3			

(4) 成果指標	指標名	スポーツ施設利用者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	75,000	210	80,000	80,000				
	実績値	75,561	79,689	83,913					
達成度 (%)	100.7%	37947.1%	104.9%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理の委託が大変厳しい状況であるので、現状の見直しが必要です。 スポーツ教室の企画運営を検討する必要があります。
----------	--

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度より独自の企画運営のスポーツ教室を実施するが、26年度より教室数を増加します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> 本年度より独自事業を開始したが、将来的に独立運営を目指し事業規模を拡大し、運営組織強化を図る。又、他の委託事業との整合性も考慮し、事業統合も考えます。 		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-26	ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ開催補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	後藤孝文
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	2社会教育
	総合計画上の施策名	56	競技スポーツの支援	
	施策名(評価単位)	(34)	生涯スポーツの推進	

2. 事務事業の目的	自転車国際ロードレースツアー・オブ・ジャパンを開催し、スポーツ振興と自転車普及促進を図るとともに、美濃市を自転車のまちとしてPRします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	・ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	0	8,018,000	9,000,000	9,100,000
② 人件費	880,000	880,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	880,000	8,898,000	9,880,000	9,980,000
前年度比 (%)		1011.1%	111.0%	101.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	2,000,000
	市債	0	0	0
	その他特定財源		2,018,000	3,000,000
	一般財源	880,000	6,880,000	6,880,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,200.0	22,245.0	24,700.0	24,950.0
前年度比 (%)		1011.1%	111.0%	101.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成23年度は、東日本大震災のため開催中止。			

(3) 活動指標	指標名	ボランティア数				単位:	人
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	400	400	400	400		

(4) 成果指標	指標名	観客数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000				
	実績値	28,000	24,000	25,000					
達成度 (%)	93.3%	80.0%	83.3%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・メディアを通うだつの町美濃市をPRすることができました。 ・更なる経費削減を検討します。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年11月
<ul style="list-style-type: none"> ・事業費削減のため、現在の企業協賛金をふるさと納税へ移行することによるメリットをPRします。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営を近い将来にNP0の独自運営へ向けて協力し、大会運営に当たります。 		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-27 文化会館運営事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援	
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	舞台芸術を中心とした公演を実施・誘致して、市民の文化力を向上を図ります。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な施設をめざして、設備の定期点検を行うとともに、老朽設備の改修を実施しました。 舞台での催し物において、出演者も観賞者も満足するよう、舞台技術業務を専門業者に委託しました。 市民の芸能文化発表のために、文化協会を核にした芸能大会を開催しました。 当市の伝統芸能「美濃流しにわか」の笑いと風刺文化をさらに盛り上げるため、自主事業で「うだつアゲアゲお笑いライブ」を開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	33,260,079	30,325,824	8,431,500	10,001,000	
② 人件費	8,880,000	8,880,000	160,000	1,360,000	
③ 合計コスト ①+②	42,140,079	39,205,824	8,591,500	11,361,000	
前年度比 (%)		93.0%	21.9%	132.2%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	9,204,490	3,924,500		
	一般財源	32,935,589	35,281,324	8,591,500	11,361,000
④ 活動一単位当たりコスト	122,857.4	136,131.3	24,902.9	34,427.3	
前年度比 (%)		110.8%	18.3%	138.2%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度から指定管理制度導入により、事業費が減少しているが、平成26年度は業務量の見直しにより、増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	文化会館利用数				単位:	回
	指標説明	年間の延べ使用回数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	343	288	345	330		

(4) 成果指標	指標名	市内人口に対する来館者、入場者数割合				単位:	%	評価:	+
	指標説明	年間延べ来館者、入場者数÷年度末人口×100							
	目標値の設定方針	前年度と同率以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	125	120	110	155				
	実績値	116.9	94.6	155.6					
達成度 (%)	93.5%	78.8%	141.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	<p>市内唯一の文化ホールであり、市民の文化芸術活動の基盤として、常に満足できる設備と態勢を保つ必要があります。文化芸術活動に対する市民の欲求は、多様化、細分化しているため様々な要望に対応できるよう、情報収集と対応力の向上が求められています。</p>
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年12月
<p>建設後37年を経過し、設備の老朽化が著しいため、今後も継続して計画的に設備更新を行います。市民の要望に応えられる自主事業の展開ができるようアンケートの実施や様々なチャンネルを通じて要望調査を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>市内唯一の文化ホールとして、求められる一定の役割を果たしてきたし、文化の向上にも寄与してきました。施設が老朽化しており、今後も適切な維持管理を行うと共に、多額の経費が必要な改修は長期計画に基づいて実施します。本年度より指定管理制度に移行したことにより、更なる文化向上の期待が寄せられているところであるが、移行期による問題の調整を十分行なうことによりサービスレベルを向上させていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-28 芸術文化協働推進事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 3文化・芸術
	総合計画上の施策名	57 文化芸術の振興と市民活動の支援	
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	市民協働による文化芸術活動の促進及び支援し、文化芸術及び文化力の向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	市民文化の向上を目的に設立された「NPO法人 四つ葉のコウゾ」に事業委託し、協働事業とし、市内各団体と連携しながら、“ウタガキ・美濃”と銘打って5回のコンサートや、他2回の各団体への協力を実施し、幅広く活動を展開しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費		1,000,000	1,000,000	1,000,000
② 人件費		80,000	80,000	1,280,000
③ 合計コスト ①+②	0	1,080,000	1,080,000	2,280,000
前年度比 (%)		#DIV/0!	100.0%	211.1%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	0	1,080,000	1,080,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	98,181.8	216,000.0	228,000.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	220.0%	105.6%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度：催し物事業を自主事業として実施したためコスト増となった 平成26年度：業務量の見直しによる増			

(3) 活動指標	指標名	開催回数			単位:	回
	指標説明	コンサート等催し物の開催回数				
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
	実績値		11	5	10	

(4) 成果指標	指標名	延べ来場者			単位:	人	評価:	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込			
	目標値		1,650	1,628	1,500			
	実績値		1,550	844				
達成度 (%)	#DIV/0!	93.9%	51.8%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市内には類似事業の実施団体があるので、競合しないよう配慮が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年12月
各団体との情報交換により、コンセンサスの形成に努め、さらに効果的に協働できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
うだつの上がる町並みを中心に、5回のコンサートを実施しました。市民や観光客の癒しのひと時を提供し、美濃のアーティストや団体の活動を広報する機会になりました。市民の文化芸術活動の広さと理解の深さを改めて再認識した事業となっています。事業を開始して2年目なので、当面は、必要に応じ調整しながら継続し、事業展開を行います。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-29	アーティスト・イン・レジデンス事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	幅 仁史
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	59 国内・海外との文化交流の促進		
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	芸術家と市民の交流を進めるとともに、紙芸術・紙文化を発信して地域文化の向上を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	国内外の芸術家を美濃市に招聘し、ホームステイ方式で滞在して美濃和紙を使った創作活動を展開しました。滞在期間中には、美濃和紙の紙すき研修、あかりアート展出品、工房の公開、小中学校等でのワークショップなどを開催し、市民交流を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	6,614,000	7,000,000	7,000,000	5,300,000	
② 人件費	4,480,000	4,480,000	80,000	480,000	
③ 合計コスト ①+②	11,094,000	11,480,000	7,080,000	5,780,000	
前年度比 (%)		103.5%	61.7%	81.6%	
財源内訳	国・県支出金	4,660,000	5,000,000	5,000,000	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	6,434,000	6,480,000	2,080,000	5,780,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,773,500.0	2,870,000.0	1,770,000.0	1,445,000.0	
前年度比 (%)		103.5%	61.7%	81.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度：指定管理制度導入に伴う業務量（人件費）の減少による減 平成26年度：業務量の見直しによる人件費の増、補助金額の減少による、事業費の減				

(3) 活動指標	指標名	招聘芸術家				単位:	人
	指標説明	招聘芸術家の人数					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	4	4	4	4		

(4) 成果指標	指標名	交流事業参加者				単位:	人	評価:	+
	指標説明	アーティスト人数×500人							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	2,000	2,000	2,000	2,100				
	実績値	2,000	2,000	2,000					
達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民ボランティアにより運営されているが、近年参加するボランティアの人数が横ばい状態となり、新たな勢力の参画がない。そのため事業展開が硬直化している傾向にあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年12月
参加するボランティアを増やすため広報、口コミ等でボランティア参加者の勧誘を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
本年で事業開始以来18年目になり、招聘したアーティストは合計32カ国、93名に上りました。長年継続してきたことにより、市民文化の向上や国際交流に大きな影響を与えています。今後はこの蓄積を活かし、美濃和紙の発展に重要な役割を果たせるよう関係者との連携を一層向上させて、事業展開を行なっていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-30 ユネスコ関連事業	担当課	人づくり文化課	
		作成者	高木宏和	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	3文化・芸術
	総合計画上の施策名	59 国内・海外との文化交流の促進		
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	本美濃紙・美濃和紙の保存・継承及び産業・観光振興のため、また、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた海外情報発信・文化交流を実施します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	イタリア・アマルフィ市との紙の文化交流友好協定の締結、文化交流事業（美濃和紙あかりアート展、本美濃紙保存会による紙漉き実演、伝統工芸ちょうちん製作実演、学術シンポジウム）の開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費		1,946,369	11,682,000	1,342,000
② 人件費			3,280	3,280
③ 合計コスト ①+②	0	1,946,369	11,685,280	1,345,280
前年度比 (%)		#DIV/0!	600.4%	11.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	0	1,946,369	11,685,280
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	1,946,369.0	5,842,640.0	1,345,280.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	300.2%	23.0%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	平成25年度は美濃市がアマルフィ市を訪問し、平成26年度はアマルフィ市が美濃市へ訪問し事業を開催するため、予算が減額しました。			

(3) 活動指標	指標名	訪問の回数				単位:	回
	指標説明	友好協定の締結					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値		1	2	1		

(4) 成果指標	指標名	訪問の回数				単位:	回	評価:	+
	指標説明	友好協定の締結							
	目標値の設定方針	友好協定の締結							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値		1	2	1				
	実績値		1	2					
達成度 (%)	#DIV/0!	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
平成25年5月23日、アマルフィ市役所に於いて美濃市・アマルフィ市紙の文化交流友好協定の締結をおこない、文化交流事業を実施した。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成27年度
<p>今後は、美濃和紙の普及・販売に向けた国際戦略として、生活インテリア全般に携わる設計士、デザイナー、プランナーと連携して、メゾン・エ・オブジェやJstyle+、アンビエンテ等の国際見本市に出展し、海外バイヤーとの直接交渉を確保確保すべきである。和紙文化の普及、若い世代の和紙への理解を深めて頂くため、和紙の需要開拓のため、和紙の多様性を情報発信するとともに、新商品開発力を蓄積できる事業を市で検討すべきである。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
<p>文化交流協定の締結を完了した。 今後12月には文化交流事業として、学術シンポジウム・美濃和紙あかりアート展、本美濃紙保存会による紙漉き実演を予定している。 本美濃紙のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、こうした文化活動の情報発信をおこなうと共に、本美濃紙・美濃和紙・和紙製品の販路拡大に向けイタリアを中核にヨーロッパ全域に発信をおこなう。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要					
事務事業名	53-31	市内遺跡発掘調査事業	担当課	人づくり文化課	
			作成者	清山 健	
施策体系	行政分野	④教育・文化		施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60	文化財の保護・保全と活用		
	施策名（評価単位）	(35)	文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	各種開発に伴う事前の試掘調査や保存目的の測量・発掘調査等を行い、遺跡の保全・保護する。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成25年度）	各種開発に伴う試掘調査・立会調査 13件 保存目的の測量・発掘調査 2件

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	3,500,000	3,500,000	3,904,000	6,348,000	
② 人件費	3,280,000	3,280,000	1,680,000	880,000	
③ 合計コスト ①+②	6,780,000	6,780,000	5,584,000	7,228,000	
前年度比		100.0%	82.4%	129.4%	
財源内訳	国・県支出金	1,750,000	1,750,000	1,950,000	3,274,000
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,030,000	5,030,000	3,634,000	3,954,000
④ 活動一単位当たりコスト	753,333.3	678,000.0	372,266.7	451,750.0	
前年度比		90.0%	54.9%	121.4%	
⑤ コストに関する増減理由	26年度は県道改良や市道改良に伴う調査があり、調査一件当たりの面積が増えるため、単位当たりコストも増となります。				

(3) 活動指標	指標名	調査件数			単位:	件
	指標説明	各種開発や保存に伴う調査				
	実績値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
		9	10	15	16	

4. 評価・課題
各種開発に伴う調査は義務的なものです。25年度は開発事業者の工期に配慮して迅速に事前調査を行えました。保存目的の調査は史跡の範囲確認を進めた。早い段階で全体の範囲を確定し、遺跡保存までの全体計画を策定する必要があります。人件費が平成24年の3割弱になっており、業務に支障が出ています。

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年10月
各種開発に伴う調査は工期に配慮して遅滞無く行う。保存目的の調査は保存の全体計画を策定する。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
開発に伴う事前確認調査は、開発事業を円滑に進めるためには不可欠です。保存目的の調査は得られた新知見を市民に公開し、理解を得ながら保護を進めます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-32 民俗伝統文化財記録保存事業	担当課	人づくり文化課	
		作成者	清山 健	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	民俗資料を収集し郷土資料として整え、歴史学習、生涯学習に活用します。
------------	------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	過去に収集を行った民俗資料を整理し、保管します。資料を精査し、必要な資料は新たに収集しました。公開時期を設け、公開・活用しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	3,400,000	2,235,900	2,270,640	2,425,000
② 人件費	880,000	880,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	4,280,000	3,115,900	3,150,640	3,305,000
前年度比 (%)		72.8%	101.1%	104.9%
財源内訳	国・県支出金	3,400,000	0	
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	880,000	3,115,900	3,150,640
④ 活動一単位当たりコスト	3,356.9	4,160.1	9,694.3	5,508.3
前年度比 (%)		123.9%	233.0%	56.8%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	資料点数				単位:	点
	指標説明	該当年度新収集資料					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	1,275	749	325	600		

(4) 成果指標	指標名	未整理資料点数				単位:	点	評価:	—
	指標説明	収集資料点数-整理済点数							
	目標値の設定方針	未整理資料が前年度以下になるよう設定							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	1,000	300	40	0				
	実績値	1000	300	40					
達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
収集・整理は順調に進んでいます。将来にむけての保護・保存について検討が必要です。一方、公開できる施設が不足しているため一般公開への方策が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年10月
整理を進めて文化財指定し、保護・保存計画を具体化します。収納展示の形で随時公開できるようにします。26年度は一部を文化財展で公開します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
収集整理はほぼジャンルを網羅した感があります。今後は和紙製作関連の資料を中心に収集・整理するとともに活用環境を整えていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	53-33 市指定文化財修理等補助経費	担当課	人づくり文化課
		作成者	清山 健
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用	4文化財
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、市指定文化財を修理・修復します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	市指定文化財の修理に対し、美濃市文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付しました。 俵町浦島太郎修理 広岡町花咲翁修理

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	0	1,164,000	401,000	105,000
② 人件費	0	3,280,000	480,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	0	4,444,000	881,000	985,000
前年度比 (%)		#DIV/0!	19.8%	111.8%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	0	4,444,000	881,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	888,800.0	440,500.0	985,000.0
前年度比 (%)		#DIV/0!	49.6%	223.6%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	修理内容及び件数によって事業費が増減するためコストも変動します。平成26年度は1件を対応中。			

(3) 活動指標	指標名	市指定文化財修理件数				単位:	県
	指標説明						
	実績値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
		0	5	2	1		

(4) 成果指標	指標名	一般市民ほか				単位:	人	評価:	+
	指標説明	市指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える							
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	0	0	5	1				
	実績値	0	5	2					
達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	40.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市指定文化財の祭関係のものは春祭り後に要望があがる傾向にあります。祭を円滑に行えるよう積極的な補正予算対応が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
計画的に修理が行えるよう所有者との連絡体制を作ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
文化財は着実に順々に修理されています。今後も計画的に修理・保存していきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-34 指定文化財保存整備事業	担当課	人づくり文化課	
		作成者	清山 健	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、県指定文化財を修理・修復を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	県指定文化財保護費補助交付金要綱にもとづき補助金を交付しました。 大矢田ひんこ収蔵庫新築 相生町山車蔵修理 港町にわか太鼓修理

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	2,217,000	994,000	6,962,000	3,156,000	
② 人件費	3,280,000	3,280,000	880,000	880,000	
③ 合計コスト ①+②	5,497,000	4,274,000	7,842,000	4,036,000	
前年度比 (%)		77.8%	183.5%	51.5%	
財源内訳	国・県支出金	1,478,000	662,000	4,641,000	210,300
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	4,019,000	3,612,000	3,201,000	3,825,700
④ 活動一単位当たりコスト	5,497,000.0	4,274,000.0	2,614,000.0	807,200.0	
前年度比 (%)		77.8%	61.2%	30.9%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	修理内容及び件数によって事業費が増減するためコストも変動します。				

(3) 活動指標	指標名	県指定文化財修理件数				単位:	件
	指標説明						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	1	1	3	5		

(4) 成果指標	指標名	一般市民ほか				単位:	人	評価:	+
	指標説明	県指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える							
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	1	1	1	5				
	実績値	1	1	3					
達成度 (%)	100.0%	100.0%	300.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市は追加の補助金を完全に負担しており、現状で事務上の遺漏は無いが、修理件数は県の採択数次第で決まるため、修理待ちの案件が残っています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
計画的に修理が行えるよう所有者との連絡体制を作ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
文化財は着実に順々に修理されています。今後も計画的に修理・保存していきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-35 文化遺産活用推進事業	担当課	人づくり文化課	
		作成者	高木宏和	
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	60 文化財の保護・保全と活用		
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	市内地域の多様で豊かな文化遺産（伝統行事・伝統芸能を含む。）の保護・保全、次世代への継承を目指して、本市の歴史や地域伝統文化の理解を得られるように各地域の実情に適した総合的な取組を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(平成25年度)</p> <p>市内文化財保存団体の代表で構成する美濃市文化遺産活用実行委員会への補助。 ・美濃和紙あかりアート展において本美濃紙保存会の紙漉き実演(美濃和紙あかりアート館)開催。 ・元文化庁監査官苅谷勇雅氏の講演会(旧今井家住宅)の開催。(H25.11.2) ・美濃市の歴史(概要版)の編集・刊行。 ・本美濃紙冊子(イタリア語版)の編集・刊行。 ・町並みパンフレット(外国語版)の編集・刊行。 ・文化財悉皆調査の実施(清泰寺、大矢田神社、誕生八幡神社、八幡神社)。</p>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費		9,014,000	9,600,000	9,200,000	
② 人件費		2,880,000	2,880,000	2,880,000	
③ 合計コスト ①+②	0	9,014,000	12,480,000	12,080,000	
財源内訳	前年度比 (%)	#DIV/0!	138.5%	96.8%	
	国・県支出金	0	7,228,000	6,435,000	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	1,786,000	3,165,000	12,080,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	55,642.0	73,411.8	70,232.6	
前年度比 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	131.9%	95.7%	
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	文化財悉皆調査の調査件数が増加したため。				

(3) 活動指標	指標名	調査・講演会・実演等			単位:	日数
	指標説明	悉皆調査・講演会・実演等の活動日数				
	実績値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
			162	170	172	

(4) 成果指標	指標名	調査件数、講演・実演件数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	悉皆調査・講演会・実演件数						
	目標値の設定方針	基礎データ等の件数						
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込			
	目標値		860	900	920			
実績値		860	900					
達成度 (%)	#DIV/0!	100.0%	100.0%					

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価	
				A	
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題
<p>評価</p> <p>(1) 県内外の観光客の増加 文化財保存団体、市観光協会、市教育委員会が連携して情報発信すること、また美濃和紙の最大イベントである「美濃和紙あかりアート展」での本美濃紙保存会による紙漉き実演は、観光客の増加に寄与することができました。</p> <p>(2) 各種文化財保存団体の連携強化 今まで交流が少なかった各種文化財保存団体の連携を強化し、市全域の文化遺産活用保存を一体的に進めることができました。</p> <p>(3) 市民への文化財保存継承に対する啓蒙として、美濃市の歴史(概要版)の刊行ができ、多くの市民から所望を頂きました。</p>

6. 具体的な改善内容	改善時期
なし	

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
市内に所在する文化遺産の活用については、歴史まちづくり事業の一環として重要な事業に位置づけられる。また今後実施予定の市史編纂事業では、文化財悉皆調査で得られた基礎データをもとに編纂事業が実施されるため、継続調査が必要である。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	35-36 本美濃紙保存会補助事業	担当課	人づくり文化課
		作成者	清山 健
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類 4文化財
	総合計画上の施策名	61 本美濃紙の伝承	
	施策名(評価単位)	(35) 文化活動の促進	

2. 事務事業の目的	国指定重要無形文化財「本美濃紙」を次世代へ継承するため、製作技術の保存及び伝承者の養成を支援する。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成25年度)	「本美濃紙」の保持団体である「本美濃紙保存会」が行う技術保存、伝承者養成事業への補助。保存会の事業総額5,500,000円のうち、国庫補助額5,000,000円県費220,000円への追加的補助。美濃市補助金等交付規則第4条。人づくり文化課は会の事務局を担当し、会が行う諸事業について事務的に支援しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込
① 直接事業費	200,000	200,000	220,000	220,000
② 人件費	1,200,000	1,200,000	880,000	880,000
③ 合計コスト ①+②	1,400,000	1,400,000	1,100,000	1,100,000
財源内訳	前年度比 (%)		100.0%	78.6%
	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	1,400,000	1,400,000	1,100,000
④ 活動一単位当たりコスト	100,000.0	127,272.7	100,000.0	91,666.7
前年度比 (%)		127.3%	78.6%	91.7%
⑤ コストに関する増減理由 (25年度実績、26年度見込)	25年度実績の減は人件費削減による。			

(3) 活動指標	指標名	研修生				単位:	人
	指標説明	育成する技術伝承者の数(23年度から関連技術伝承者を含む)					
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
	実績値	14	11	11	12		

(4) 成果指標	指標名	新規会員数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	研修生から新規に正規会員に加入した人数(23年度から関連技術伝承者を含む)							
	目標値の設定方針	1名以上							
		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込				
	目標値	1	1	0	1				
	実績値	0	4	0					
達成度 (%)	0.0%	400.0%	#DIV/0!						

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)				評価		A	
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No				
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No				
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No				
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No				

5. 評価・課題	23年度実績は過去21年間に及ぶ育成事業の成果でした。人材の育成には中長期的な展望が必要です。事業の内容は全工程に及ぶ研修会の開催など、研修生に有益であるよう心がけました。関連技術では桁の製作技術の伝承に引き続き、刷毛製作技術の伝承に取り組みました。用具では原料の不足が課題に挙げられます。事業費が平成22年と比べて2.5倍以上に増加し、事業内容も増えているため、事務量が多くなっているが平成25年度の人員削減により、業務に支障をきたしています。古くからの会員の高齢化が進み、スムーズな世代交代が求められます。
----------	---

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年4月
本美濃紙保存会の副会長を交代し、次期体制に移行する準備に入りました。桁原料の桧は産地の南木曾にコンタクトを取ります。桁金具はすでに生産不能なため、新たな職人を探し求めます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
4人の新規正会員を得た23年度実績は、継続して粘り強く後継者育成事業に取り組んできた過去21年の成果の結晶でした。本美濃紙保存会の会員が増加に転じたのは昭和43年の会発足以来のことです。23年度・24年度参入の新規研修生が研修を修め、正規会員になるまでにはさらに数年必要です。本美濃紙保存会では関連技術の伝承も桁に続き刷毛製作技術伝承に取り組んでおり、全国有数の紙の産地としての存在感を増すことになるでしょう。将来的にも必ず必要である桁、刷毛、竹簧の安定確保を目指し、美濃手漉和紙用具製作技術保存会の事務局にも取り組む必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成 25 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-37	町並み保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	清山 健
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	62 重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全		
	施策名（評価単位）	(35) 文化活動の促進		

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区内の歴史的風致を維持し、伝統的・歴史的な景観を向上させます。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成25年度）	5件の修理に対し、補助金執行事務を行いました。 まちの駅家主屋3659千円 鈴木家土蔵5344千円 古川家主屋6000千円 森井家主屋1540千円 事務費 119千円

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	
① 直接事業費	23,846,000	15,409,000	16,662,000	19,980,000	
② 人件費	2,000,000	2,000,000	1,280,000	880	
③ 合計コスト ①+②	25,846,000	17,409,000	17,942,000	19,980,880	
前年度比		67.4%	103.1%	111.4%	
財源内訳	国・県支出金	11,923,000	7,704,000	8,331,000	9,990,000
	市債	11,923,000	7,705,000	8,331,000	9,990,000
	その他特定財源				
	一般財源	2,000,000	2,000,000	1,280,000	880
④ 活動一単位当たりコスト	5,169,200.0	3,481,800.0	4,485,500.0	3,996,176.0	
前年度比		67.4%	128.8%	89.1%	
⑤ コストに関する増減理由	伝建地区内住民要望の修理・修景内容により、増減する。				

(3) 活動指標	指標名	修理・修景実施数				単位:	件
	指標説明						
	実績値	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込		
		5	5	4	5		

4. 評価・課題
年間を通じて、打ち合わせ、工事、検査に事務量が多大であり、事業全体に無理が生じてきています。平成24年度以前のように専任の職員が必要です。事務事業内容のほとんどが、建築の設計、監理、査定であり、設計士が直接事業を担当すべきです。また、度重なる年度途中の補正対応で、事務量は増加しています。工期も遅れています。

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成26年9月
住民からの要望件数が増加しているため、財政措置の拡充が必要です。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	北村道弘
美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、観光施策、文化財保護の施策の中核であり、今後積極的に実施していく必要があります。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------